

関東東海北陸農業試験研究推進会議果樹部会
平成 24 年度現地研究会開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議 果樹部会
部会長 農研機構果樹研究所 檜村芳記

1. 趣旨

我が国の果樹農業は、担い手の高齢化や後継者不足、果実消費の低迷など厳しい状況に置かれている。このような中、果樹産地の振興を図っていくためには、各産地が自らの特徴を活かした戦略的な取り組みを進めていくことが重要となっている。

本年度の現地研究会においては、このような観点から各県等で独自に取り組んでいる特徴ある研究について話題提供するとともに、オンリーワンによる産地振興に向けた今後の方策について検討する。

2. 開催日時 平成 24 年 7 月 5 日 (木) 12:50 ~6 日 (金) 12:40

集合場所： 佐渡汽船両津港ターミナル 12:40 頃 (新潟県佐渡市両津湊 353 番地)

3. 開催場所

1) 研究会 (1 日目午後)

国際佐渡観光ホテル八幡館 (佐渡市八幡 2043 TEL 0259(57)2141)

2) 現地視察 (2 日目午前)

①カキ、セイヨウナシ栽培園 (佐渡市羽茂本郷)

②ミカン栽培園 (佐渡市井坪)

4. 検討事項

テーマ：「オンリーワンをめざす果樹研究の最新動向」

1) 研究会 (7 月 5 日 13:30~17:15)

(1) 話題提供

①ブドウ (無核・有核) かんたん栽培技術の開発

埼玉県農林総合研究センター園芸研究所

酒井雄作

②ミカンハダニの土着天敵層を活用するカンキツの IPM 体系モデル

静岡県農林技術研究所果樹研究センター

金子修治

③ニホングリ「ぼろたん」の生産・利用技術の確立

岐阜県中山間農業研究所中津川支所

神尾真司

④果実用カラーチャート付き作業用手袋の開発

三重県農業研究所

伊藤 寿

⑤食塩水を利用した日本ナシの落葉期前進による作業期間拡大技術
新潟県農業総合研究所園芸研究センター 松本辰也

⑥物質蓄積やストレス評価のための安価な樹体発育センサの開発
(独)農研機構果樹研究所 朝倉利員

(2) 総合討議

(3) その他

①24年度の推進会議予定

②今後の現地研究会担当予定等

2) 現地視察 (7月6日 8:00~12:00)

(1) 出発場所・時間 国際佐渡観光ホテル八幡館 発 8:00

(2) 視察地

①カキ、セイヨウナシ栽培園 (佐渡市羽茂本郷) 9:00~ 9:40

②ミカン栽培園 (佐渡市井坪) 10:10~10:40

佐渡汽船両津港ターミナル (昼食) 12:00

(3) 解散場所・時間 佐渡汽船両津港ターミナル 12:40

5. 参集範囲

関東東海北陸地域各都県行政・試験研究機関、農林水産省生産局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、(独)農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター、果樹研究所、その他部会長が必要と認めた者

6. その他

参加申し込み、資料提出、その他の詳細については、別途事務局 (新潟県農業総合研究所園芸研究センター) から連絡する。